



令和4年度

第1回 SKY 研修を行いました！

令和4年11月30日 15:00～17:00 北部リハビリテーション会議室にて
対象:SKY 常勤・非常勤職員、参加者 29 名

今回は、

「家族や地域の埋もれた困りごとをキャッチし、開かれた地域づくりについて探る
～孤立させない仕組みを考える～」

というテーマをもとに、「一般社団法人 Omoshiro」の勝呂ちひろ氏を講師にお招きし、ヤングケアラー支援（親子まるっと伴走支援）を始めた経緯や地域に対して福祉を身近に感じてもらうためのアプローチ、ソーシャルワーカーとしての視点を学びつつ家族や当事者だけが孤立しない、抱え込まないために何ができるか、日頃の業務を振り返りながら考えられる機会として講義とワークを行いました。

勝呂さんにはこんなに盛り沢山の内容なのに、
全て網羅してお話くださったうえに、

「〇〇法人の職員ではなく、
一人のソーシャルワーカー」として勝負する」

ご自身で事業を起こし、
ご自身の言葉で表現してくださった姿に、
参加者は多くの刺激をいただきました。



研修後、参加者29名からは、

「子供時代に助けてもらえる経験を得ることは、その後のメンタルヘルスにとっても重要なサポートだと思った」

「子供は大人の延長線上にあると考えた時、子供の頃の境遇や積み重ねを知ることが、利用者を理解するためにも必要な視点だということを得られた」

「その方の変化に合わせた『支援の微調整』を大切にしていきたいと感じた」

など、他にも沢山の「気づき」が出ていました。

今後、その方だけではなく、その方のご家族や関係機関なども含め、地域に求められる法人（一人のソーシャルワーカー）でありたいと感じる研修になりました（研修委員会）

